

未来をひらく豊かな心と確かな学力を育む教育の推進



4

昨今の技術革新や急速なグローバル化の進展により、社会は大きな変革期を迎えている。精度の高い未来予測を行うことは非常に困難なことであるが、これからは、世の中にあふれる不確実性に対応する力を持つことが重要である。そのような力を身に付けるためには、子どもたちの基礎的な学力向上に加え、自らの個性や可能性を伸ばし、存分に力を試すことができる環境の整備が必要である。そこで、子どもたちの豊かな心の醸成及び確かな学力向上を図るため、特色ある学校づくりの取組強化及び一人ひとりに応じた挑戦ができる環境整備の支援強化に積極的に努められたい。

地域資源を活かしたまちの活性化の推進



5

人口減少下において、コンパクトなまちづくりに主眼を置いた効率性及び効果性を高めるための取組は欠かすことはできない。本市を住み続けられるまちとして維持していくために、今後は、生活機能が確保された地域市街地の創出に加え、中心市街地をさらに魅力ある空間にするための整備を進めていくことが重要である。そこで、有休不動産の有効活用の促進並びに空き店舗等についての実態を把握した上で、様々な企業や団体等と連携した地域力の維持・強化、まちなか居住及び商業の活性化に向けた取組を積極的に推進されたい。

空き家対策の推進



6

近年の少子高齢化の進展や人口減少に伴い、本市においても空き家が増加している。特に、適切な管理がされず放置されている特定空家は、防災、衛生及び景観など、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。空き家の発生には様々な要因があり、防止するためには所有者への意識啓発が不可欠である。そのため、空き家問題に関する情報の発信、相続対策セミナーや住まいの終活に関するリーフレットの配布などの積極的な取組が必要であり、かつ、まちづくり施策及び移住・定住施策などの他の施策との連携が重要である。これらのことから、空き家の所有者等からの相談に迅速に対応できるワンストップサービスなどの相談体制の整備を推進されたい。

安全で良質な水の供給



7

今後の水道事業の経営が厳しいことから、水道料金の改定の検討がされている。市民の理解が十分に得られるような効果的な広報活動を行いながら、安全で良質な水を安定的に供給しつつ、経営環境を改善するための取組を着実に推進されたい。